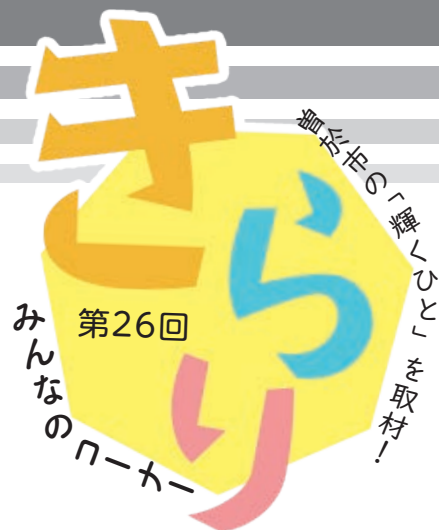




アメリカ カリフォルニア州出身  
財部町在住

センシル ヴァルン さん



# SENTHIL VARUN

小さい頃007に憧れてスパイになりたかった青年は、海を渡り、財部小学校に在籍しながら、小学校6校・財部中学校の児童生徒に英語を教える先生になりました。今回は、来日4年目を迎えるALTのヴァルン先生にお話を伺いました。

—日本に興味を持ったきっかけは？

アニメです。日本のアニメが好きで『鋼の錬金術師』や『エヴァンゲリオン』を字幕なしで見たいと思います。日本語を勉強し始めました。そして大学3年生の時に、東京に留学しALTの手伝いをしたことで、さらに日本が好きになりました。

—日本での生活はどうですか？

仕事は楽しくて、毎日ワクワクしています。日本食も好きで寿司や納豆、卵かけご飯も食べます。地元店や近隣の都城市のお店で買いたい物をして、食事を作ることは楽しいですが、片付けは面倒だと感じます(笑)それと、日本は湿度が高く夏は暑すぎることで、虫が多いのは苦手です(泣)

—アメリカと日本の違いを感じる事がありますか？

日本は共同意識が強いので住みやすく、みんな手助けをしてくれます。アメリカは、レディーファーストの習慣があると言われたり、日本人はシャイだと聞きますが、別段、違うとは思いません。

—地域の方との関わりは？

地域の集まりに参加しており、20代〜60代の友達がいます。出る範囲でALT同士の勉強会も行っています。曾於市の行事にも興味があり、ぜひ「鬼追い」に参加してみたいと思います。

—アメリカの男女共同参画は？

両親は共働きでしたが、料理については、作れる方が作り、一方は片付けをする事を自然にやっていました。特別な事をするのではなく、お互いを尊重し、無理なく出来ることをする役割分担が出来ていたように思います。

—子ども達へのメッセージは？

小学生は、日本もアメリカも変わりませんが、日本では中学生になると、急に大人しくなってしまう傾向があると思います。失敗を恐れず、いろんな事に挑戦して好きな教科を見つけ、勉強は楽しいと思つて欲しいです。

SENTHIL  
VARUN



日本語を勉強するきっかけが「日本のアニメ」と現代的ですが、将来は小説家や通訳の仕事をしたいと話すヴァルン先生。日本が大好きで日本人と結婚したいとも話してくれました。曾於市の子ども達がグローバルに活躍できる世界観を持てる様に英語だけでなく異国の文化や歴史も伝えて欲しいと思いました。

【取材…県男女共同参画地域推進員】  
馬場雅子・島子正一郎  
末永順子・牧元寛治